

スマート環境センシング基盤の構築と地域デザインへの 応用に関する研究開発(JGNX-A13010)

研究実施機関

概要 (目標)

研究機関名：愛媛大学、愛媛CATV、アイムービック、ハレックス

研究の概要：小中学校内に設置されている百葉箱内で収集した気象データ、太陽光発電量データ等（ビッグデータ）を、一定時間毎に伝送しJGN-X内のサーバで蓄積する。収集したデータは、JGN-Xの仮想マシン内で可視化処理をして学校の環境教育に使えるコンテンツにしてリアルタイムに配信する。学校外からも同様にして環境データを収集する。収集した気象情報と発電電力の時間的空間的分布との相関性を明らかにすることによって、太陽光パネルを気象センサ化する。また、蓄積したデータを用いて校区限定コンテンツや、松山平野共通サービスを開発し、これらの有用性を検証する。（平成25年度ICT分野の競争的資金「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）採択」）

JGN-Xの活用シーン

